項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数/行 ※1	文字フォント	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ（ポイント） ※2	指定都市実装区分	一般市区町村実装区分	適合基準日
11	就学援助費認定取消通知書、就学援助費認定取消通知書（平仮名表記）	児童生徒名	表形式で、日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力しない 就学世帯ごとの出力に対応して複数名分表示可能とする ※6名以上は改頁とする	1	無	本人氏名型	30	IPAmj明朝	―	左	○	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
12		認定取消日	自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする	1	無	日付型	17	IPAmj明朝	和暦	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
13		認定取消理由	マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする	1	無	全角	43	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
14		備考	自治体ごとに任意の文言を設定する	1	有	全角	45/8	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
15		教示文	マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする 自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする	1	有	全角	50/12	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
16		連絡先	機関名・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスを記載 マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする なお、非表示とした印字項目は項目名ごと非表示とする 指定都市の実装においては、個人単位で出力する場合、任意の文言または児童生徒の学校情報を選択可能	5	無	全角/半角	20/5	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

※1：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。
※2：プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近いフォントサイズであれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上） ※3	最低余白（下） ※3	最低余白（左） ※3	最低余白（右） ※3	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	処分庁名（通知者名）	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学援助費認定取消通知書、就学援助費認定取消通知書（平仮名表記）	A4	縦	11	5	13	5	5	―	有	有	有	有	無	就学世帯（学校別）/ 個人（児童生徒）	規定しない	無	―

※3：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。